

（３）越智今治ブロック（今治市、上島町）

～産地づくり～

西日本豪雨災害からの復興とさらなる発展のため、かんきつ類などの果樹のブランド産地を目指し、県オリジナル品種や既存の主力品種を最大限に活かせる栽培技術の確立を強力に推進するとともに、生産技術の高位平準化にも取り組みます。また、県オリジナル品種等の導入が進む野菜・花き、新たに産地化が期待されている「オリーブ」や「醸造用ぶどう」など、生産者の所得確保・向上につながる品種・品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○マルドリ栽培によるブランド果実生産とかんきつ産地の振興

【取組】

- ①「甘平」の裂果対策
 - ・ 隔年結果対策の実証ほ設置
 - ・ 裂果が発生しにくいとされる水田転作地での実態把握
- ②「愛媛果試第48号」の栽培推進
 - ・ 植栽状況確認
 - ・ モデル農家の選出及び、す上がり調査
- ③「愛媛果試第48号」苗木
 - ・ 苗木、若木管理実証ほの設置

【成果】

- ① 粘土の多い水田の特性を残した水田転換園での裂果率は対照区の1/4
- ② 「愛媛果試第48号」の栽培面積：10.4ha
 - ・ 菊間町、大西町のモデル農家ほ場における、す上がり調査（両園とも発生を認めず）
- ③ 「愛媛果試第48号」苗木・若木の生育状況の確認、指導



裂果率20%園の収穫期の状況



「愛媛果試第48号」の現地指導

○しまなみ産「レモン」の周年供給によるブランドカアップ

【取組】

- ① レモンの夏季生産（7～9月）誘導とハウス栽培生産技術指導
- ② レモン栽培の新規施設化の推進
- ③ 露地レモンでのスマート農業技術実証
- ④ レモンの品質向上生産技術の指導強化
- ⑤ 早期成園化のための技術指導

【成果】

- ①
 - ・ 施設栽培技術指導と夏季出荷誘導：個別巡回 7戸（計23回）
 - ・ 夏季出荷量：1,200kg（R5：669kg）
- ②
 - ・ 施設化誘導：個別（新規就農者）：1戸（計4回）
 - ・ 新規就農者がハウスを増反：2戸（23a）
- ③
 - ・ 省力技術として、ドローン防除による効果実証（カンキツかいよう病、黒点病及び訪花害虫対策）：2剤、3回散布
 - ・ ドローン防除、ロボット草刈り機実演：34人参加
 - ・ ドローン防除での作業時間は、慣行の1/6程度、防除効果は慣行の70%程度であるが夏季の過重労働の解放には有効。
- ④
 - ・ 栽培講習会での技術指導：13回（参加者延べ34人）
 - ・ いわぎレモン栽培暦の作成（いわぎ物産センターより依頼）
- ⑤
 - ・ 早期成園化・整枝剪定と樹形作り実証ほの設置：1か所
 - ・ 栽培講習会での苗木管理技術指導：3回（参加者延べ89人）



栽培講習会



ロボット草刈り機実演

○地産地消の推進に向けたエコ栽培農産物等の栽培力アップ

【取組】

- ① 地産地消の推進
- ② 小麦の栽培面積維持と需要開拓
- ③ エコ栽培農産物生産の取組推進

【成果】

- ①
 - ・地元高校生を対象に、収穫・加工体験会を開催
 - ・オリーブの作業体験を通じて地産地消を推進（7月）
 - ・エコえひめ農産物の農作業体験を通して、今治地域の農業をPR（7月）
- ②
 - ・令和6年産小麦栽培面積：32ha〔R5：49ha、R4,3：47ha〕
 - ・小麦生産者を対象に、有望新品種及び地産地消の取組について、勉強会を開催：1回
- ③ エコえひめ認証制度に基づく生産登録数：42件〔R5：42件〕



エコレモンの栽培学習と収穫体験（高校生）



オリーブの作業体験（中学生）

○地域振興野菜・花きの生産推進による農家所得の向上と産地振興

【取組】

- ① さといもの省力生産体系の推進による栽培面積の拡大
- ② 甘長とうがらしの生産振興とブランド化の推進
- ③ 花き花木の周年供給産地の育成

【成果】

- ①
 - ・優良種芋更新促進のため、親芋直接苗採取法の実証を開始
 - ・新規栽培希望者向けの説明会を開催：1回
 - ・栽培面積：37.2ha〔R5年比：96%〕
- ②
 - ・出荷量：73,172kg〔R5年比：89%〕
 - ・産地販売金額：47,566千円〔R5年比：89%〕
 - ・肥料コスト削減に向けた単肥配合及び廃液利用技術の実証、確立
 - ・EC、pHセンサーのIoT化による養液のモニタリング実証
- ③
 - ・自家増殖による産地拡大のため、挿し木講習会を実施：4回
 - ・花木産地販売金額：23,325千円〔R5年比：78%〕



さといも新規栽培希望者説明会



自家増殖推進のための花木の挿し木講習会

○「オリーブ」と「醸造用ぶどう」の新たな産地の育成

【取組】

- ① 栽培管理マニュアルを活用した担い手の育成
- ② 生産加工事業者のグループ化による地域農業ブランドの構築
- ③ 地元のイベントや観光拠点での販売、PR活動
- ④ 県外等でのPR・販売フェアの開催
- ⑤ SNS等での商品、産地情報の発信

【成果】

- ①
 - ・オリーブの栽培面積：9ha〔R5：9ha〕
 - ・醸造用ぶどうの栽培面積：3.5ha〔R5：3.5ha〕
- ② オリーブと醸造用ぶどうの生産者を含めた事業者グループ「しまなみみんなのディッシュ」の参加事業者が増加：32人
- ③
 - ・「せとうちみなとマルシェ」特別ブースへの会員の自主的な出展を促進：計8回
 - ・タオル美術館、JR松山駅等に常設販売コーナーを開設：3か所
- ④ 県内外対象のイベント、期間限定フェアの実施（計3回）を通じて「しまなみ農産加工品」を周知
- ⑤
 - ・SNSポータルサイトの開設による商品、事業者情報の発信（アクセス数※：3,854回）※R6年度末時点



JR松山駅内店舗に常設販売コーナーを設置



県内外参加者対象のオリーブ収穫イベント

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者や農業参入企業等に対し、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、グリーン・ツーリズムによる起業活動等を支援するとともに、女性の農業経営への参画を促進し、女性農業指導士とともに優れた女性経営者を育成します。さらに、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策など、地域を取り巻く課題に対応した支援を強力に展開します。

～推進対象や地域づくりの方向～

○意欲ある就農者のスキルアップによる担い手育成

【取組】

- ① 就農フェアや就農相談会での相談対応
- ② 就農啓発講座と農業体験活動の開催
- ③ 就農前研修会の開催
- ④ 新規就農者と生産者の交流会開催
- ⑤ 新規就農者の経営早期確立に向けた支援
- ⑥ 青年農業者と女性農業者のスキルアップを目的とした、講習会等を実施

【成果】

- ①
 - ・ 就農相談会等の対応※：25件 ※R6年度末時点
 - ・ 相談等により、6名が農業次世代人材投資事業（就農準備資金）を活用し、農業研修を開始
- ②
 - ・ 地元高校や地元メディアと連携した農業体験活動：1回
 - ・ 就農啓発講座を開催し、就農に向け意識啓発：1回
- ③ 就農予定者へ就農時に必要な制度、事業を周知：1回
- ④ 就農予定者と先輩農業者との交流会を開催し、就農支援体制を強化：1回
- ⑤ 経営の早期確立のため、新規就農者へ重点的に個別指導を実施
- ⑥ 青年農業者や女性農業者に対し、農作業安全やスマート農業に関する講習会等を開催：2回



農業体験活動を支援



新規就農者等交流会



農作業安全研修会

○水田を活用したスマート農業の実現

【取組】

- ① ドローンを活用した防除作業の省力化技術の普及
- ② 営農データの「見える化」や生産性向上に向けて、営農管理システム等の導入推進
- ③ 新たなスマート農業技術実証をスタート

【成果】

- ① 水田におけるドローン防除の普及面積：116ha
〔R5：156ha、R4：176ha〕
- ②
 - ・ 電子化された、ほ場地図と作業記録及び収穫量等をクラウドで一括管理し、複数ほ場の最適な営農計画を策定する、営農管理システムの導入：3集落営農組織
 - ・ 上記の営農管理システムと繋がるコンバインから得られる食味及び収穫量のデータを活用し、次作の栽培管理を改善する取組を実施：1集落営農組織
- ③
 - ・ 水田の水管理省力化に向け、IoTによりスマートフォンで操作できる給水機により最適な水管理を行う実証ほを設置し、水管理時間を10%程度削減：1か所
 - ・ 生育期間中の「ひめの凜」の莖数をスマートフォンのアプリで測定し、中干し開始時期を推定する技術実証ほを設置、誤差が大きく要改善：1か所



IoT水管理システム



収量コンバインによるデータ収集

○実践集団の育成と捕獲技術の向上による鳥獣被害対策の支援

【取組】

- ① 加害鳥獣対策の実証及び普及
- ② 関係機関、取組集落間のネットワークづくり
- ③ 鳥獣害を受けにくい集落づくり支援

【成果】

- ①
 - ・ 特産ナシをサルから守るモデル園を設置して、センサーカメラによるサルの習性等を基にサルの専門家やナシ農家等で研修会を開催（今治市古谷）
 - ・ 簡易低コスト防鳥施設による、柑橘加害鳥類の侵入防止効果の実証（今治市宮窪町友浦）：1か所、標準施工費の10%
 - ・ 高大寺集落及び奈良の木集落でみかんでの誘因効果が高い事などが確認され、サルの捕獲頭数が45頭に増加（R5年：7頭）
- ②
 - ・ 今治地域鳥獣害防止対策協議会を開催し情報を共有：2回
 - ・ 面的対策拡大のための取組集落間ネットワークづくりを支援
- ③
 - ・ 集落ぐるみの地域体制づくりの醸成に向け、集落点検活動を実施：2集落
 - ・ 大三島町で移住就農者を中心に、イノシシ対策の任意組織（9人）を立ち上げ、防護・捕獲対策を実施
 - ・ えひめ地域鳥獣管理専門員と連携し、効果的な侵入防止対策を指導
 - ・ 新たなえひめ地域鳥獣管理専門員を育成：1人



ニホンザル防止実証ほ
において現地点検



青年農業者が捕獲設置
技術研修を開催



えひめ地域鳥獣管理
専門員の現地実習

～農業・農村の整備～

○生産基盤の維持・強化

【取組】

- ① 基幹的農業水利施設の長寿命化対策を推進
- ② 通作条件の改善等につながる農道整備を推進
- ③ 担い手の確保・定着につながる樹園地整備を推進
- ④ 点滴かんがいに対応した樹園地整備を推進

【成果】

- ① 基幹的農業水利施設の長寿命化対策を実施：3地区
（歌仙、頓田川沿岸、蒼社川）
- ② 農道整備を実施：歌仙3期地区（1,300m）
- ③④ 樹園地の再編復旧を実施：上浦地区（6.7ha※）
 ※内訳
 - ・ 井口工区1.6haのうち、1.6haの整備が完成
 - ・ 盛工区4.5haのうち、4.5haの整備が完成
 - ・ 古戸工区0.6haの整備に着手



農道整備
（歌仙3期地区）



樹園地の再編復旧
（上浦地区盛工区）



ため池の改修
（犬塚地区・犬塚池）

○安全・安心に暮らせる農村の整備

【取組】

- ① 県営事業による防災重点ため池の改修及び耐震化を推進
- ② 団体営事業による防災重点ため池の改修を支援
- ③ 団体営事業による防災重点ため池の廃止を支援

【成果】

- ① 県営事業で防災重点ため池の改修及び耐震化を実施：7地区・8池
 （犬塚地区・犬塚池、波止浜地区・尾池、医王地区・医王池、
 亀岡地区・防象池・魚谷池、棚井上池地区・棚井上池、
 御城地区・御城池、三戸地区：三戸池）
- ② 団体営事業で防災重点ため池の改修を実施：2地区
 （高山地区、江良地区）
- ③ 団体営事業で防災重点ため池の廃止を実施：3地区
 （扇谷地区、石ヶ谷地区、大江地区）

○農業・農村の多面的機能の維持発揮活動の支援

【取組】

- ① 多面的機能支払交付金の交付により地域の共同活動を支援
- ② 中山間地域等直接支払交付金の交付により中山間地域における農業生産活動の継続を支援

【成果】

- ① 地域協働による水路の泥上げや農道、水路、ため池堤体の草刈りなどの活動を実施：29組織（今治市28組織、上島町1組織）
- ② 中山間地域における農業生産活動を継続：31組織（今治市）



共同活動
（水路の泥上げ）

～地域の特性と時代の変化に柔軟に対応し畜産基盤の継承を図ります～

○次世代の担い手への経営継承支援

【取組】

- ・新技術の活用や生産性向上に資する機械等の導入を希望する農家には、活用できる補助事業や資金に関する情報を提供するとともに、県事業による施設整備等を支援

【成果】

- ・地域の畜産クラスター協議会と連携し
 - ① 畜産新技術等導入支援事業により、
 - 〔新技術等の導入に必要な施設及び機器を整備：1農場
 - 〔生産性向上に資する新素材・新薬を試験的に導入：1農場



堆肥処理用脱水機及び
試験的導入薬剤

○地域畜産ブランドの販売力強化

【取組】

- ・県開発ブランド「愛媛あかね和牛」の生産体制強化のための衛生管理技術指導

【成果】

- ・定期的な衛生検査により農場内の病原体浸潤状況を把握：6農場
- ・検査結果に基づき、感染予防対策を指導：6農場
- ・安全な畜産物の生産・供給に向け、対象疾病の防除による生産性向上を支援：6農場



愛媛あかね和牛

○家畜伝染病発生予防のための技術指導等

【取組】

- ① 家畜伝染病のまん延防止体制の推進
- ② 消毒や野生鳥獣の侵入防止等の飼養衛生管理の技術指導

【成果】

- ①
 - ・近年のHPAI及びCSFの発生状況を鑑み、農場毎の衛生対策指導を実施するとともに、東予地方局で防疫演習を開催（9月）
 - ・家畜伝染病予防法に基づき、養豚農家では豚熱の予防的ワクチン接種をR3年度より継続実施、適期接種を指導：3農場
 - ・愛媛県豚熱感染拡大防止対策協議会と連携し、R4年度より野生イノシシに対する豚熱経口ワクチンを散布：48地点
- ②
 - ・県内での家畜伝染病の発生を含め、国内外の家畜伝染病の発生状況の情報提供と注意喚起を実施
 - ・立入検査により、野生動物の侵入防止対策や消毒等の飼養衛生管理の徹底を図るための衛生指導を実施：32農場
 - ・香川県でのHPAI発生を受け、養鶏農場に消石灰を配付し、緊急消毒を指導：12農場



経口ワクチン散布



衛生指導のための立入検査